

講師略歴

クライブ・ジェームズ氏 農学博士(Dr. Clive James)

国際アグリバイオ事業団(ISAAA)名誉会長

1990年、資源に乏しい発展途上国の農業生産者のため、知識の共有及び工業国からの農業バイオテクノロジー応用技術の取得や移転を促進するために、非営利慈善団体である国際アグリバイオ事業団(ISAAA)を自ら設立。英国で教育を受け、ウェールズ大学卒業後、ケンブリッジ大学で農学博士号を取得。ISAAAを設立以前は、メキシコの国際トウモロコシ・コムギ改良センター(CIMMYT)事務局次長を務め、そこでノーベル平和賞受賞者でISAAAの後援者であるノーマン・ボーローグ博士とともに職務を遂行。過去25年間は、生活・仕事の場をアジア、ラテンアメリカ及びアフリカの発展途上国に置き、農業の研究開発問題や農作物バイオテクノロジーに貢献した。また、カナダ国際開発庁(CIDA)の上級農業アドバイザーや国連食糧農業機関(FAO)での役割を担った他、国連開発計画(UNDP)や世界銀行などの国際的開発機関、ロックフェラー財団や日立財団を含む多数の国際的慈善団体の顧問も務める。バイオテク作物が初めて商品化された1996年以降、バイオテク作物の世界的状況や食料や飼料、繊維、燃料の安全保障への貢献についてレビューした年次報告を刊行、国際的に認知されている。

ランディ・A・ホーティ氏 農学博士(Dr. Randy A. Hautea)

国際アグリバイオ事業団(ISAAA)国際コーディネーター兼東南アジアセンター理事長

フィリピン大学ロスバニョス校において農学・育種学の学士及び修了号を取得後、コーネル大学において育種学の博士号を取得。フィリピン大学ロスバニョス校の植物育種研究所長を経て、1998年、ISAAAに参加。ミネソタ大学の農学・植物遺伝学の客員研究員を務めた経験もある。現在、国際アグリバイオ事業団(ISAAA)国際コーディネーター兼、フィリピンを本拠とする東南アジアセンターの理事長を務める。

国際アグリバイオ事業団(ISAAA)の概要

国際アグリバイオ事業団(ISAAA)は、国際的非営利慈善団体であり、バイオテク作物に関する知識を国際社会で共有し、農業で生計を立てる資源に乏しい発展途上国の農業生産者に対し、バイオテクノロジーの利用に協力して、飢餓と貧困を解決するべく活動している。

- ISAAAは、公的機関と私的機関が共同スポンサーとなっている。年次報告書は、Btトウモロコシ栽培が盛んな地域を拠点とするスペイン第4位の規模を誇る銀行であるイベルカハ、およびバイオテク作物について国際社会が科学的知識に基づいた判断を可能にするため、知識の共有をサポートするイタリアのブッソレラ・ブランカ財団が資金提供をしている。
- ISAAAの報告書で発表された統計は、政府機関や公的ならびに私的セクターのその他機関を含む、幅広い情報源からの統合データベースに基づいており、科学雑誌や国際報道機関で広く引用されている。